

子育てサロン“SUKU-SUKU”

地域と学校が連携した福祉教育への取り組み

市原市社会福祉協議会　辰巳台支部

新興住宅地を住民の“第2の故郷”に！ 地域一体となって取り組む福祉教育

市原市の辰巳台地区は、臨海部に進出した企業の社宅団地として誕生した比較的新しい街。

市原市社会福祉協議会辰巳台支部は、昭和63年の設立以来、この辰巳台地区を、全国各地から集まった住民にとっての“第2の故郷”とするべく、「地域ぐるみ」「連携」を合い言葉に、「辰巳福祉ネットワーク」を中心に様々な活動を続けてきました。その結果、福祉の輪は順調に広がり続け、辰巳台支部は100名超の会員を有する大きな組織へと成長をとげました。

住民のニーズに対応した活動を展開

辰巳台支部は、地域の福祉施設「辰巳萬緑苑」を事務局にして、「辰巳福祉ネットワーク」を組織。以来、辰巳台地区を社宅単位の街からひとつの街にすべく、役員、会員が一丸となり、精力的に活動を続けてきました。

平成17年から平成21年まで 「辰巳ふれあいセンター」を活動拠点として、多くの賛同者が集まり、「辰巳福祉ネットワーク」の規模は拡大し続け、平成21年の時点で、広報誌「コスモス」を年3回発行する「広報部会」や、子育てサロン“SUKU・SUKU”を運営する 「子育て部会」など、6つの部会を持つまでになりました。

さらに平成17年には、増え続ける高齢者のニーズに応えるために、たすけあい「辰巳ねこの手」を設立し、清掃や草取り、パソコン指導にペットの世話など、様々な作業を低料金で肩代わりする有償サービスも開始。このように、小さな子どもたちから高齢者まで、あらゆる住民に密着した活動を展開し続けています。

主要事業を福祉教育に活用

そして近年、特に力を注いでいるのが、地域に住む子どもたちへの福祉教育です。

活動初期から「青少年部会」を設立し、地域内にある全ての保育所、幼稚園、小・中学校が加入し、年間5回の定例部会を行うなど、辰巳台支部は福祉教育に力を注いできました。また、平成18年度から3年間、千葉県社会福祉協議会から福祉教育推進団体の指定も受けました。

辰巳台支部の福祉教育において、重要な役割を果たしているのが、主要事業である「辰巳地区福祉バザー＆福祉祭り」や「辰巳地区敬老のつどい」であり、また、「花植え活動」などを中心としたボランティア活動です。

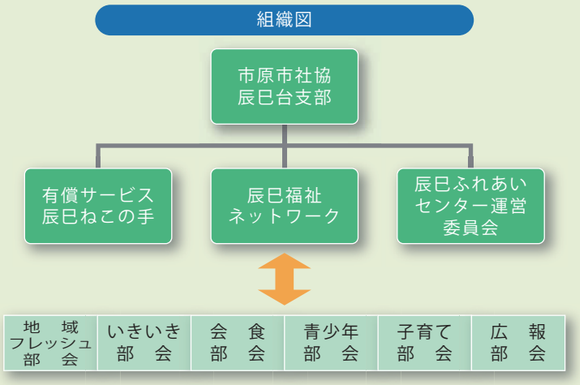
■市原市社会福祉協議会　辰巳台支部　概要
（平成21年3月現在）

人　口	12,517人
高齢化率	11.3%
世帯数	5,038世帯
年少率	19.8%

【組織体制】

支部長1名（民児協）、副支部長3名（保護司、民児協、福祉ネットワーク）、理事22名、会計1名、書記1名、監事2名、顧問2名、評議員67名（全町会長も含む）

組織図



ボランティア活動で学ぶ福祉の心

「辰巳地区福祉バザー＆福祉祭り」は平成10年から中学生が、「辰巳地区敬老のつどい」は平成11年から小学生・中学生が、毎年ボランティア活動を行っています。

「学校や先生からの強制ではなく、子どもたちの自発的な参加を呼びかけています。近年は申し込みが殺到して、主催者としては嬉しい限りですね」と、辰巳台支部の深谷みどり支部長は語っています。

バザーでは中学生のボランティアが、会場作りからレジでの商品の袋入れ、そして募金活動にと大活躍。10円コーナーでは販売も任され、「売れそうもない物が売れる」のだとか。

「辰巳地区敬老のつどい」では、小学生がお年寄りを玄関で出迎え、胸に花を付けて案内し、中学生がお茶を出してくれたりする微笑ましい姿が見られます。

子どもたちが地域の活動に参画する場面を作り、学校では学べないことを学んでもらう。これらの催しでは、子どもたちがただの“お手伝い”ではなく“スタッフ”として参加することで、自分がこの地域の住民であることを再認識し、そこから優しさやいたわりの心が生まれていきます。諸行事への参加後、子どもから最も多く聞くのは、「“ありがとう”と言われたのが嬉しかった」という言葉だそうです。

歴史の浅い比較的新しい街であるが故に、核家族が多く、以前は学校や各種施設が閉鎖的な面を持っていた辰巳台地区。そこで、子どもたちが地域と関わりを持つ機会を数多く用意し、保護者の目も地域に向いてきました。支部の役割の1つである、“外で子どもたちを育てるための環境づくり”。今後はさらに近隣の住民の方々も地域の活動に巻き込んでいくことが目標となっています。

福祉施設と連携、あらたな拠点を整備

福祉教育に重点を置きつつ、その他にも様々な活動を展開する辰巳台支部は、自主財源の確保にも積極的に取り組んでいます。前述した、たすけあい「辰巳ねこの手」や資源回収。さらに社協・「辰巳福祉ネットワーク」で畑を借りて作物を作り、「辰巳地区福祉バザー＆福祉祭り」で販売し、それらの収益を運営費に充てています。

平成21年、「辰巳ふれあいセンター」を、地域内の福祉施設『ケアハウス辰巳彩風苑』のオーナーのご尽力により、同施設内に移転。子育て部会による「世代間交流子育てサロン“SUKU・SUKU”」　も展開されています。

同施設の入居者が子育てサロンの子どもたちと交流したり、また、託児所の子どもたちと遊ぶ機会を設けたりと、ボランティアの活動拠点にもなっています。



【お問い合せ先】　市原市社会福祉協議会　辰巳台支部…☎0436-75-5116